

# 平成31年度

## ◎職員間での連絡ミスについて

朝、子どもを引き渡すときに担任以外の先生に伝えたことをしっかりと担任に伝えて欲しいというご意見をいただきました。

11時間という保育時間を職員が時間差で出勤し保育を行っています。担任がいないという時間帯もあり他のクラスの職員が保護者の方からお子様をお預かりし体調等の確認を行っています。口頭でお伺いしたことが担任にしっかりと申し送りされていなかったことでご心配をおかけしてしまいました。

職員間でも今回の事を周知確認させていただきました。今まで通りすみよし愛児園の子ども達は全職員で個々を把握し、体調だけでなく心の育ちや環境の変化なども理解し保育を行っています。ご意見ありがとうございました。

## ◎1号認定の子どもの保育内容について

地域のお店に園児の絵が飾ってあったが自分の子どもの絵が無かった、夏休み期間中に描いたのだと思うが1号(幼稚園)と2号(保育園)という認定の違いを感じてしまうというご意見をいただきました。

この件につきましては、夏休み後の1号の子ども達の様子やこの地域のお店に飾られている絵について園としてどのような考えや想いがあるかということが、保護者の方にしっかりと伝わっておらず申し訳ありませんでした。

2号認定の子ども達はこの絵について「描きたい」という子どもが描きお店に飾っていただきました。1号認定の子どもにも夏休み後に、こういった絵を描く機会があることを伝えました。しかし、約1ヶ月の夏休み後ということで、一緒のクラスのお友達との関わり、遊びを楽しんでいたこともあり担任もその気持ちを優先させていました。無理に描かせるのではなく、本人が「描きたい」と思ったときに気持ちを込めて描くことを大切にしてきました。飾ってもらうことも目的にしておらず、子どもたちが「やりたい」「絵をだれかに描いてあげたい」というようなこちらからさせるのではなく、子ども達からでてくる気持ちや想いを尊重して保育を行ってきました。

保護者の方に保育を知ってもらう、職員の想いを知ってもらうことも大切かと思いますが、子ども達が日々をどんな想いで過ごしているか、その瞬間の子ども達の興味・関心を保護者の方と一緒に共有できるように心がけていきます。

## ◎年齢に合わせた保育環境について

保育中に跳び箱からジャンプして降りようとした子がバランスを崩し転倒するということがあり園の方針は理解しているが、今回は年齢に合ったチャレンジだったのかというご意見をいただきました。

今回、どのような状況だったのかどんな視点で子どもたちの環境を作っていたかを確認しました。子ども達の「やってみたい」という気持ちを尊重し園庭に環境として跳び箱を出し、数人の子ども達で楽しんでいました。その中で、年齢に合ったチャレンジ、その子のどこまでできるかということ、どこまで大人が手を貸すかということを再度確認し徹底していきたいと思っています。

子ども達の「やりたい」という気持ちだけを汲んでいくのではなく、自分でできた喜び、大きい子ができることへの憧れ、自分で膨らませるイメージなど大人が「やらせてあげる」だけではなく、このような気持ちを持てる環境も大切にしていきたいと思っています。子どもたちの本当の願いを探り、発達に合わせた環境設定を行っていきたいと思っています。